

QST病院または兵庫県立粒子線医療センターにて頭頸部がん 陽子線治療または炭素線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構と兵庫県立粒子線医療センターでは頭頸部がんに対して陽子線治療または炭素線治療を行った患者さんの臨床データを解析し、炭素線治療とマルチオン治療において現在よりも少ない照射回数で治療を完結させる寡分割照射の実現に向けた検討を行います。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 粒子線治療における頭頸部がんの抗腫瘍効果及び正常組織障害の解析と寡分割照射プロトコルの検討

[実施期間] 各研究機関の長の許可日～2030年12月31日

[研究機関及びその長の氏名]

量子科学技術研究開発機構 QST病院及び量子医科学研究所（QST病院長 石川 仁）

兵庫県立粒子線医療センター（院長 沖本 智昭）

[各研究機関の研究責任者]

量子科学技術研究開発機構：篠藤 誠（研究代表者）

兵庫県立粒子線医療センター：高端 大希

[研究の目的] 炭素線治療及びマルチオン治療における寡分割照射プロトコルを検討すること。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

QST病院または兵庫県立粒子線医療センターにて2025年9月10日までに頭頸部がんに対して陽子線治療または炭素線治療が開始された方。

●利用する情報及び収集方法

紙カルテ、電子カルテ、医用画像管理システム、治療計画システム、診断支援システム等に保存されている治療部位、組織型、総線量、分割回数、治療後の経過等の臨床データと治療計画データを収集します。新たな質問や検査はありません。収集したデータは、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、パスワードをかけるなど安全管理に配慮した上でクラウドや郵送等の方法により共有し、研究を実施します。

[個人情報の取り扱い]

各研究機関内では、利用する情報はお名前を削除してカルテ番号を付けて取り扱います。共同研究機関間で情報を共有する際は、カルテ番号を本研究用の識別番号に置き換えて、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないように加工して取り扱います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報が外部に出ることはありません（個人情報保護法及び各研究機関の

個人情報保護に関する規則等に従い取り扱います）。なお、本研究で取得させていただいたデータは、将来的に、現時点では定まっていない新たな研究目的のために二次利用させていただく可能性があり、信頼性確保のためのデータ保管期間終了後も引き続き保管させていただきます。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は治療を受けた研究機関の問い合わせ先窓口にお申し出くださるようお願い致します。データ利用の拒否はいつでもお申し出いただけますが、個人情報と切り離されてしまった情報は取り除けないことがあります。そのような場合であっても患者さんの個人を特定できる情報が公表されることはありません。また、ご自分のデータの使用をお断りになってもその後の診療に影響はありません。

【問い合わせ先：窓口】

千葉県千葉市稲毛区六川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 篠藤誠

電話：043-206-3306

（平日9:00～17:00）

【問い合わせ先：窓口】

兵庫県たつの市新宮町光都1-2-1

兵庫県立粒子線医療センター

放射線科 高端大希

電話：079-158-0100

（平日9:00～17:00）